

炎天下の草刈りOK カメムシ 対策に 人気 of 新型ツインモアー

三陽機器

猛暑の中でも草刈り作業がトラクタに乗ったまま行える「三陽機器(寺前公平社長・岡山県浅口郡里庄町新庄3858)発売のトラクタ用アーム式草刈機「ツインモアーZMシリーズ」が、斑点米カメムシの発生が心配されるこの時期、炎天下でもトラクタに乗ったまま、斜面や遠隔地の草刈り作業が楽に、自在に行えるとして注目を集めている。また、この新型ZMシリーズは、作業時や道路走行時などに、モアーを車幅内に自在に格納できるため、「安心してスピード走行できる」と好評を呼んでいる。



寺前社長

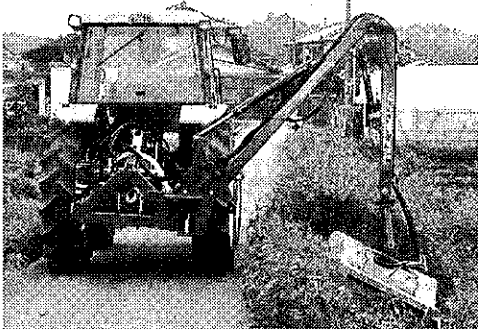
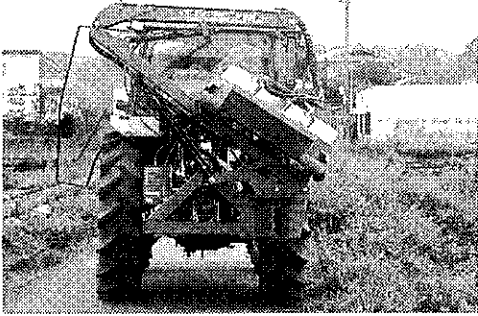
猛暑が続く中、高温で発生しやすいのが紋枯れ病や斑点米カメムシ。カメムシ防除には、水田周辺や畦畔の雑草管理が欠かせない。とほいえ熱中症が多発する今年の猛暑。炎天下での草刈り作

業は極めて過酷なものがあ
る。こつした情勢を受け、トラクタに乗ったまま草刈り作業ができる「ツインモアー」に魅力を感じる農家が急増している。長いアームの先端にモアーを装着しているため、トラクタに乗ったまま、農道からガードレール越しに法面の草刈りが行える。作業リーチはZM-3708(適用ト

ラクター28〜50馬力)が3・6m、ZM-3709(35〜50馬力)が3・7m、ZM-45(50〜90馬力)が4・5mと長く、幅の広い法面や水路越しの草刈り作業も楽に、効率良くできる。しかも、トラクタ作業のため、キャビンにいな

ら、移動も楽に行え、飛び地や離れた遠隔地の草刈り作業が苦にならない。新型ZMシリーズは、トラクタに乗ったまま、レバー操作だけでモアーアームをトラクタの車幅内にほぼ格納できる。そのため「道路走行時、

「後方」「左後方」の4ポジションあり、「左後方」ポジションでは道路の左側走行をしながら草刈り作業ができるので、対向車とのすれ違いが安全快適に行える。モアー部は、作業幅800mmと900mmがあり、ZM-3708用はセットピンを解除することで、モアー部が折りたためる2面刈り作業が可能になる。ZM-3709、同45用は平面刈り専用モアーで、高トルクのツイン油圧モーターを採用、高能率の草刈り作業を実現している。



猛暑でも楽に草刈り作業ができるツインモアーZMシリーズ